

地域計画

策定年月日	令和7年2月28日
更新年月日	
目標年度	令和14年度
市町村名 (市町村コード)	甲賀市 252093
地域名 (地域内農業集落名)	水口町 三大寺 (三大寺)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	49.50 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	49.38 ha
② 田の面積	49.38 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	0.12 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0.12 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0 ha
(参考) 区域内における75才以上の農業者の農地面積の合計	1.65 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	0 ha
(備考)	

(2) 地域農業の現状及び課題

今後、後継者不在の農業地になる、ここ数年は現在の法人により現状維持している。 集約化しても従事出来ないのではないか

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

・現在 水稻の作付が大部分であるが、各一筆の面積が 10a 平均面積である、田面 面積を大きくして(大区画)(補場整備、 基盤整備)機械利用の効率的な方法に対応して少人数でも出来るように検討する。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農業者 担う者により農地利用を進める方針			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	90 %	将来の目標とする集積率	98 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
現在 集落 営農法人 1個所、平均 49.5 a(令和 6年度時点)			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
農地利用最適化推進委員と農地相談員と調整し、進める。
(2)農地中間管理機構の活用方法
段階的に集約化する。
(3)基盤整備事業への取組
集落において、農地の大区画・基盤整備・水利の確保
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
各 方面に相談
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
各 作業の情報提供

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

○	①鳥獣被害防止対策	②有機・減農薬・減肥料	③スマート農業	④輸出	⑤果樹等
	⑥燃料・資源作物等	⑦保全・管理等	⑧農業用施設	⑨その他	
【選択した上記の取組内容】					
・地域で 獣害被害対策 集落内の各班で点検(侵入防止柵や檻 罾の設置状況、目撃・被害発生場所等)づくりや、 連絡網 の整備や新たな捕獲人材班連携していく。					

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 14 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
集		水稻、大豆	47.82 ha	- ha	水稻、大豆	49.5 ha	49.5 ha	緑色	
			ha	ha		ha	ha		
個人		水稻	1.41 ha	- ha		0 ha	0 ha	緑色	
個人		不耕作	0.03 ha	- ha		0 ha	0 ha	黒枠	
個人		水稻	0.15 ha	- ha		0 ha	0 ha	緑色	
個人		畑	0.09 ha	- ha		0 ha	0 ha	黒枠	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	5経営体		49.5 ha	0 ha		49.5 ha	49.5 ha		

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業者名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1		農薬散布	水稻
2		もみ乾燥	水稻
3		もみ乾燥	水稻

6 目標地図(別添のとおり)

